



2023年度 市政懇談会  
〈南地区町内会・自治会連合会〉

次 第

[日時] 2023年10月3日(火) 18:30 ~ 20:00

[場所] 南市民センター ホール

司会進行： 市民協働推進担当部長 横山 法子  
南地区町内会・自治会連合会 副会長 細野 利雄

○ 連合会長の挨拶

南地区町内会・自治会連合会 会長 長谷川 義剛

○ 市長の挨拶

町田市市長 石阪 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

- 1 小川小学校前の横断歩道の設置について

【道路部】

- 2 高齢者など交通弱者の足となる交通網対策について

【都市づくり部】

- 3 町内会・自治会の自助防災について

【防災安全部】 【市民部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

南地区町内会・自治会連合会 副会長 須藤 晏男

**2023年度 南地区町内会・自治会連合会 市政懇談会  
議事録（要旨）**

[日 時] 2023年10月3日（火）18：30～20：00

[場 所] 南市民センター ホール

[出席者] 町田市長 石坂 丈一

防災安全部長 大貫 一夫

道路部長 萩野 功一

都市づくり部都市政策課長 岩岡 哲男

政策経営部広報担当部長 樋口 草紀子

市民部市民協働推進担当部長 横山 法子

南地区町内会・自治会連合会長 ほか32名

事務局 市民部市民協働推進課 5名

市民部南市民センター長

司会進行：市民協働推進担当部長

南地区町内会・自治会連合会副会長

○連合会長の挨拶

○市長の挨拶

○職員の紹介

○市政懇談会について

## 第1部 地域の議題に関する意見交換

### 1 小川小学校前の横断歩道の設置について

小川3丁目・4丁目の境に小川小学校の児童の通学路や住民の生活道路となっている道路がありますが、約500メートルの区間にわたって横断歩道が設置されていないため不便を感じております。当該道路には見通しの悪い場所もあるうえ、近年では通勤通学時間帯の抜け道としてスピードを出している車両も増加しており、交通事故の発生を懸念しております。

現在、町田警察署に対して横断歩道設置を依頼していますが、市の考えをお聞かせください。

### 【回答】

#### 道路部長

横断歩道の設置に対する市の考えと、交通安全対策の2点について、お答えします。

まず、横断歩道の設置の市の考えについてですが、横断歩道の設置を依頼され

ている場所は、小川富士見台自治会様との立ち合いの際、市立小川公園の東端の交差点（資料内①）であることを確認させていただきました。

市から警察に確認したところ、横断歩道の設置は難しい箇所であると伺っております。その理由としましては、南方面から進行してきた車両は、交差点の手前約50mの位置にあるカーブを曲がらないと横断歩道を確認することが出来ないため、直前まで歩行者を認識できないことや、この道路は、下りの勾配がついているために、車両が横断歩道上に歩行者を確認しても、停車できない可能性があるとのことでした。

また、市からは、横断歩道が難しいのであれば、代わりに信号機設置の可能性についても確認しましたが、当該交差点は北側にある既存の信号機と距離が近いこと、誤認するおそれがあることから、設置が難しいとのことでした。

市としましても、安全を最優先に考えますと、ご不便は承知しておりますが、信号機がある交差点をご利用いただきたいと考えております。

次に、交通安全対策について、お答えします。

小川富士見台自治会様との立ち合いの際、市立小川公園の東端（資料内②）と、小川4丁目5-19付近交差点（資料内③）の2箇所の交差点について、見通しが悪いことを確認いたしました。これらの場所の安全対策としましては、市立小川公園の植栽の剪定や、カーブミラーの設置の検討をしております。

また、一時停止の交通規制を守らない車両もいると伺いましたので、市から警察に、取り締まりのパトロール要請を行いました。

## 《質疑》

### 金森親和会

私はこの場所にはあまり関係ないので、単純に横断歩道のつけ方についてですが、見通しが悪いから横断歩道がつけられないというのは、逆ではないかと思っています。見通しが悪いからこそつけておかなければいけないし、見通しが悪いところにどうやって横断歩道があるかを知らせる工夫が必要なのではないかと思いました。これからみんな高齢化になってくると、なるべく近い距離で渡りたくなるのですよね。横断歩道がないところは常に渡っていい形になってしまうので、逆に事故が多くなる。そうしたら、ある程度の間隔で横断歩道があることが必要だと思うのです。

例えば、横断歩道の周りにダイヤモンドマークがありますね。あれを少し長めにつければ、カーブの見通しの悪いところでも先に横断歩道があると気がつきやすいですね。逆に気がつかないで走ってくる人間は運転してはいけないはずなので。あと、看板を立てて、減速してくださいとか、カーブ注意という案内もあると思うので、そういうものと併せて考えていただかないと、できないことばかり言われてもしょうがないかなと。これは私のところにはあまり影響しないので

すが、近隣どこでもこういうことはあり得ますし、今、抜け道になっている細い道が結構多いので、そこをスピード超過の車が走り回るような、知らない人たちが走ってきて、通り抜けが分からないから、あえてスピードを出して通り抜けてしまおうという人が多いのは確かなので、それを踏まえた上で考えていただきたいと思います。今の理由だけでできませんというのは、ちょっと納得がいかないと思いました。

## 道路部長

まず、見通しが悪いからつけられないというのは警察の見解になるのですが、やはり横断歩道は完全に歩行者優先、そこで事故があれば、もちろん車両に過失が生じます。だからこそ横断歩道をつける場所は、遠くから認識でき、安全に車が止まれることを警察は念頭に置いています。見通しが悪く、カーブしてすぐ横断歩道があり、危険がないようにするためにも直線に設置していません。信号機の場合は、予備信号などがあるので、警察につけられないかと提案しましたが、すぐ直近に信号機があるので難しいというお話がありました。

あと、横断歩道の手前のダイヤモンドマークは、30m手前につけることが道路交通法の中で決まっていますので、それを長くするとか、もっと手前からというのは難しいので、ご提案頂いたカーブ注意の看板や、スピード落とせの路面標示は市でできるので、今後、警察、また地元の皆さんと相談しながら、危険な箇所については積極的につけていきたいと思っております。

## 金森親和会

見に行っただと言われたので、危険だと思われていると思うのです。そうしたら、やはり前向きに、では、どうしたらいいかという方向で説明いただきたいなど。いろいろ段取りに日数がかかるのは仕方がないと思うので、その辺は本当に地元の人たちと話し合っていていただいて具体的に進めていただきたいと思います。今の、よそから駄目だと言われたから駄目だという形の回答はあまりしてほしくないと思いました。

## 道路部長

私どもも、できることについては地域の方と一緒に進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

## 小川富士見台自治会（子ども会）

先日、立会いも一緒に参加させていただいて、当日はどうもありがとうございました。

先ほどありましたカーブの件ですが、実はそこは駐車場になっていて、見通しは物すごくいい場所です。先が見えるからこそ信号が見えてしまう。そのの

信号も、普通よりも道が狭い関係もあるのか、変わるタイミングが少し早い信号になっておりまして、カーブを下っている途中で信号が青になっていることが確認できるので、余計にスピードを出す車が多いということがあります。さらに、小川公園のところなので子どもたちがすごく渡りたがるのです。低学年の子がきょろきょろ周りを見渡しながらか走って渡るの物すごく怖いということもあって、子どもたちの安全をどうにか確保できないかということでお話をさせていただいております。

## 道路部長

今おっしゃるとおりで、特に公園の前でなかなか渡る場所がないということはどこでもあります。だからこそ、安全対策が必要とお考えなのはよく理解しているつもりです。予備信号をつけて信号機とか、押しボタンなどができないか警察にお話はさせていただきました。信号機の設置については、所管が町田警察になるのでここではお答えしづらいのですが、「スピードを落とせ」の路面表示等の安全対策については市でできますので、必要に応じて道路管理課にお声かけいただければ、いつでも現地でお立会いさせていただき、少しでも安全な策を取っていきたいと思います。

## 小川富士見台自治会

ということは、横断歩道ができないということになると、今の交通制度の中で渡る方法は、左右をよく見て渡るということしかないわけですね。事故が起きてから考えましょうかでは遅いので、もう少し前向きな考え方を早く取り入れてほしいというところです。

## 道路部長

今すぐできることは、例えば、お子様が頻繁に渡るということをお知らせするために注意喚起の看板とか、飛び出し注意の看板をドライバーに見えるように設置していくことだと思います。どこがよく渡る場所だということは皆さんが一番ご存じだと思いますので、道路管理課と、また現地で立ち会いながら決めて、より効果的に設置できれば良いと思います。

## 町田市長

今、資料を見たら、ここは30km制限の道路ですが、実際は30kmで走っている人はあまりいません。私は広袴に住んでいるのですが、そこは、後で部長が説明すると思いますが、何とか制度というものがあって、犬が歩いたり、子どもが歩いたりという看板が入り口にありますが、それが中にもあって、30kmで走らなくてはいけないのと、子どもが歩いていますよ、犬を散歩させていますよという道路標識がもうついているのです。

ただ、そこは区画整理みたいにして開発したところなので、警察が開発のときに住民の皆さんの合意を得て、30kmにしたり、看板を立てるなどを全部やりました。だから、いきなりそういう看板を立てるのもどうかと思うのですが、30kmであれば、今言った何とか制度ができるので、地域の皆さんがそれでやりましょうと合意が取れば、ただ危険とか、子どもの飛び出し注意ではなくて、道路標識としての看板も出せるのではないかと思います。

## 道路部長

今、市長が申し上げたのはゾーン30ですが、学校周辺での30km規制をするものです。幹線道路とか太い道路を境に、エリアをくくって、その中に30km制限をかけて、ゾーン30に入る入口全てに規制のマークをつけていく、中にもつけていく、ここは30km以上は駄目ですよ、と目立つようにつけていきます。これを行うためには、警視庁と地元の皆様で話し合います。これをもう少しステップアップしたものがゾーン30プラスで、例えば、車がスピードを出せないように障害物を置く、あと、少し段差をつけてスピードを落とすような構造にするものです。現在、町田でゾーン30は7地区ほど、三輪緑山、成瀬台など、幾つかあります。お子さんたちを守るための制度になりますので、小学校付近でかけていくことがメインになりますが、このような制度もありますので、ご相談をいただければ、市も積極的に協力していきたいと思っています。

## (司会) 地区連合会副会長

これは時間がかかると思います。富士見台の皆さんは市役所の部長のところへ行って何度か相談すれば少しは進むのではないかと思いますので、よろしくお願いします。

## 2 高齢者など交通弱者の足となる交通網対策について

南地区では食料品・生活用品の購入や通院、市庁舎への往復等、主たる移動手段である公共交通機関が少なく日常生活において不便を感じております。

町田駅と南町田駅間を運行する路線バスがありますが、南町田駅の先まで運行するバスがありません。既存のルートを延伸していただけないでしょうか。

## 【回答】

### 都市づくり部都市政策課長

バス事業者は予てより運転士不足の問題を抱えている中、2024年4月には「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」の改正適用による勤務時間の見直しが行われ、さらに運転士不足が深刻化することが見込まれていま

す。また、コロナ禍による利用者数減少に加え、昨今の人件費や燃料費の高騰等によりバス運行に係る経費も増加傾向となっております。

これらの状況を受け、バス事業者は現行路線の維持に苦慮している状態にあり、安全かつ安定的な運行を継続していくため、ダイヤ改正や運賃の見直しも行われております。

以上のことから、南町田グランベリーパーク駅を経由することで、路線としての距離が長くなり、また、ルートが複雑になるため、現状では難しい状況にあります。いただいた要望につきましては、バス事業者に対して働きかけを行ってまいります。

## 《質疑》

### 鶴間町内会

市長への手紙にも書いた件ですが、今日の回答はそれと何ら変わらないのですごくがっかりしています。先ほどの件もそうですが、自分たちで決められないことは人のせいだということで、警察署のせいだとかバス事業者のせいだという話になるのであれば、当事者を引っ張ってきてくれるのが市ではないかと私は思うのです。

前置きはともかくとして、地図を見ても、246の向こう側は、公共施設は鶴間町内会館ぐらいしかありません。うちの町内会の人口推移も、町田市のホームページにもきちんと書かれていて、高齢者も1000人ちょっとになる予定です。その人たちが銀河歩道橋で246を渡るのに階段を上れるかという、やはり上れなくなってきて、あちら側にスーパーマーケットもないとなると、駅にどうやって行くのかという話になってくる。私は町内会員にも言っているのですが、バスができたら本当に乗るのですかと。今、バスの便がないから乗らないという悪循環になってしまっているのです。別に神奈中だけがバスではないと思いますので、コミュニティバスも、うまくいかないという話もあるのですが、どうしたらできるかを、私も考えますけれども、町田市も一生懸命考えていただきたい。

瀬谷のほうから来る、マンションと南町田駅の間で運行しているバスがあるのですが、それは、夜の便だけはうちの町内会で止まってもらうようにしたのですが、行きの便はバイパスを通ったほうが早いものですからなかなか止められない。それは多分、マンションの方たちがお金を出しているのではないかと思うのです。それを鶴間町内会でも払えという、そこまでのお金はないものですから、もしそういったバスがあつてお金を払えば何とかなるのであれば、町田市から少し補助を出してもらうなど。新しい路線をつくるのが難しいことは、新聞などを見ているとよく分かります。バスも高齢者しか乗らない、東京都のバスの発行もありましたが、そういった、お金をまともに払うという語弊がありますが、払わない人ばかりが乗るということでは

かなか運営は厳しいのですが、そのようなことを考慮して、246の向こう側の人たちも駅までやれるように頑張っていたきたいと思っています。よろしくお願いします。

#### **都市づくり部都市政策課長**

貴重なご意見をありがとうございました。確かに246の向こう側はバス便も大変少ないですし、南町田グランベリーパークに行っているバスもありますが、そういった話についても神奈中にやっていたいたいのですが、しっかり働きかけと、併せて、今、会長からいただいたご意見を参考にしながら、考えていきたいと思います。

#### **金森親和会**

この件は去年の市政懇談会でも西田町内会から出て、そのときに市からだったと思うのですが、高齢者施設の移動用に使っている車を代替できるような試行を成瀬でやっているという話をされてきました。そのような話その後どうなっているかの回答が全然ないので、やれることは、いろいろ手を尽くしてやらなくてはいけないし、先ほどの会長が言うように、バス事業者に頼むだけしかないのだったら、利益追求の会社は、市がお金を払わないのに、利益の出ないところに便を増便するわけがないですよ。そうではない形のやり方を考えないといけないと思えますし、それであれば、去年も言われたことはどうなっているのかと。西田町内会の要望についてはどう対応しているのか。多分、全市でこういう話が出ると思うので、そこをきちんと回答していただいて、情報開示していただきたいと思えます。

こういうところで繰り返し同じことを言って、言いつ放しになるのはこの会議自体の効率性が悪くなるので、答えた内容を開示してほしいと思えます。

#### **(司会) 地区連合会副会長**

この問題も何年もやっているのに、市のほうも予算がない中、全然耳を傾けないということなのですか。

#### **都市づくり部都市政策課長**

今お話がございましたが、町田市では、身近な地域の移動に関しては地域の支え合いによる移動の取り組みに対して支援を行っており、成瀬地区では、福祉車両を活用した「くらちゃん号」というものがあります。その他にも福祉車両を活用し、財政的支援を受けて取り組みを行っている団体がございます。この地区についても、皆さんとお話ししながら考えていきたいと思っております。

### 3 町内会・自治会の自助防災について

災害時には、まずは避難施設に行かずとも安全を確保できるよう備えることが重要だと感じております。自主防災組織あての災害用備蓄物資の無償貸与を利用させていただき、町内会・自治会としても準備を進めているところです。そこで、2点質問いたします。

(1) 避難施設開設を行う住民が無事であることが前提となることから、自助の取り組みが重要と考えます。家具の転倒防止などさらなる自助を促進するための対策等をお聞かせください。

(2) 安否確認などの防災機能をもつデジタル町内会「いちのいち」の活用に向けた今後の予定をお聞かせください。

#### 【回答】

#### 防災安全部長

(1)

会長がおっしゃるとおり、「災害時には、まずは避難施設に行かずとも安全を確保できるよう備えることが重要だ」とのお考えについては、全くその通りでございます。災害時は、市民の皆様それぞれの状況に応じて一人ひとりが適切な避難行動を取れるようになることが一番重要だと考えております。

そのような考えのもと、町田市では、自助を促進するための主な取組として、2022年度は、「高ヶ坂・成瀬地区」と「忠生地区」の2地区において、在宅避難をテーマとした取組を実施しました。「高ヶ坂・成瀬地区」では、2023年2月に開催された「高ヶ坂防災フェスタ」において、携帯トイレの使用方法や備蓄の必要性を周知しました。「忠生地区」では、3月に開催された「団地キャラバン in 町田山崎」において、都市再生機構や民間事業者と協力し、山崎団地にお住まいのご家庭に対し、不用品等の整理整頓を行い在宅避難の環境向上を図る取組を行いました。

2023年度は、「アウトドア」と「防災」を組み合わせた取組として、市民の皆様が実際の屋外用テントを使用してキャンプをしながら宿泊する体験イベントを開催します。「玉川学園・南大谷地区」では、9月9日、10日に、町田第五小学校の校庭で30人の近隣住民等に対し、宿泊する体験イベントを開催しました。

なお、家具転倒防止対策については、2002年度から2019年度までの18年間、高齢や障がいのために自ら器具の取付けができない世帯の方を対象に、家具転倒防止器具等取付支援事業を実施してきましたが、需要が少なくなったため、2019年度で終了しました。今後、取付支援事業を再開する考えは今のところありませんが、防災イベントにおいて、消防署と連携し、家具転倒防止器具の展示などを行っており、引き続き、こうした機会を捉えて家具転倒防止対策の普及啓発を行うなど、自助を促進するための対策を進めていきま

す。

最後に、東京都では、関東大震災から100年の節目において、地域防災力の向上を目的として、町内会・自治会で必要な防災資機材や防災備蓄品等を購入する経費を助成する「関東大震災100年 町会・自治会防災力強化助成」を実施しています。一つの町内会・自治会につき、備蓄品や防災グッズの購入経費等に対し30万円までの助成がありますので、この機会に家具転倒防止器具等を購入していただき、在宅避難の備えをしていただけたらと思います。募集の締め切りは11月6日までですので、ぜひご活用くださいますようお願いいたします。

## 市民部市民協働推進担当部長

(2)

デジタル町内会「いちのいち」は、南地区では24の町内会・自治会にご活用いただいております。ありがとうございます。市といたしましては、まだご利用いただけていない町内会・自治会にもご利用いただけるよう、引き続き働きかけてまいります。

「いちのいち」の安否確認機能につきましては、災害時を想定して実際に機能を使ってみようということで、2023年2月に町田市町内会・自治会連合会主催でデジタル防災訓練を行いました。訓練では、会員の方が安否確認情報を入力したり、避難情報をやり取りしたりして、延べ46団体、1,010人の方にご参加いただきました。

今後も、このような「いちのいち」を活用した企画を実施したり、「いちのいち」での市からのお知らせを拡充するなど、「いちのいち」を使うことで得られるメリットを体感できるようにしてまいります。

## 《質疑》

### 金森親和会

私ばかりで、すみません。

2つあって、1つは、先ほどの高ヶ坂等でやっている在宅避難の取組の実績情報はどこを見れば分かるのですか。どういうことをやられていて、どういう成果があって、どういう課題があるかがどこに開示されているかが知りたいのです。去年も話したのですが、情報開示がすごく弱い。やっていることをただ単純に載せてくれるだけでいいので、こういうことをやっているのかと分かったら、自分たちは何をしようかと、できるかなと考えるきっかけになるのですが、今の状態だと何もできないのです。せっかくやった事実が私たちの手元に届かないということは、結局、その地区だけの対応で、町田市の対応ではないのです。そういうことを考えていただきたいと思います。市長もホームページは見にくいと言っていたので、情報が検索しやすいと

か、どういう形であるかは、現状は難しいと思います。ただ、改善していただいて情報開示をしていただきたいということをお願いします。

2点目に、「いちのいち」の防災なのですが、防災訓練のときには私は「いちのいち」を入れていたのですが、その会議には参加できなかったのです。そうすると、通常は、持っていればそこに通知が来るはずだと思いますが、来ないのです。見に行かないと、いつやっているかも分からないのです。でも、防災というのは見に行ってからやるものではないですよ。緊急で通知が来て、開く。いろいろなことが書いてあって、それに対して反応する。逆に、今は市外にいるから、どこにいますという回答も防災の範囲にならなかったのです。ということは、機能的にすごく貧弱であると言えない。

これも結局、初期にいろいろ要望事項を小田急に出したのですが、結局全くなしのつぶてです。簡単なレベルのスマホアプリを、多分、自分たちで使うことを考えていないから要求が出てこないのではないかと思います。はっきり言って使いづらいです。私個人的な考えですが、お金を払ってでも文句を言いたいです。改善してほしい。対価に見合うだけのことをやってくれるのであれば、町内会は会費を頂いているので、その人たちのためになることはやっていくし、そのための費用を出すのであれば、会員を募集する際にも、開発費にも使っているのということの説明できるので、そういうことも含めて考えていただきたい。今のままでは駄目だと思います。全く緊急時に役に立たないので、そこを考えていただきたい。そういう意味では、2月の1000人入ったときの背後状況、実績、結果、課題も全然情報として見えてこないの、そちらも改善をお願いしたいと思います。

## 防災安全部長

高ヶ坂防災フェスタをやったときには、絵柄がこちらの手元にあるのですが、こういったことでいろいろとやられた部分については、高ヶ坂団地の中でしかやっていなかったと。今、会長が言われるように、こういったことはよかったので、それは市内のほうにというのはごもっともなご意見ですので、我々も町田市全域に発信ができるように、また、絵柄が見えるような、このようなことをやったのだというものがホームページのいろいろな部分から見られるようにすると、このようにやっている地域があるのだというところを参考にしてもらおうのと、また、もう少しこのような改善ができるのではないかとという取組もできるので、そういったところを進めていきたいと思います。

## 市民部市民協働推進担当部長

通知機能のお話ですが、やはり使い勝手のところはいろいろとご意見をいただいております、こちらでも使い勝手が分からないというところについては

出張して勉強会みたいな形でやっていったりということもありますし、勉強会の中で、こういうところがおかしいよとか、分からないよというところにつきましては、こちらで小田急さんに、このようなご意見がありましたと。ユーザーの方たちの積み重ねというところもありますので、そちらは改善に話を持っていっているところがございます。どのようなことになるのかは、こちらでもすぐにはお答えができませんのですが、お話を聞いたものについては伝えて、改善をしていただくようお願いしているところです。

## 鶴間町内会

今の地区連合会長がおっしゃった内容とはちょっとずれますが、防災というと、自助というと必ず町内会が主体ですと、皆さん、市役所の方も東京都の方もおっしゃるのですが、入っていない人は、自分は市民税を払っているから参加しなくてもいいと思っているのです。いざとなったら自分は助けてもらえると思っている人たちが町内会に入らないのです。でも、皆さんは、町内会、あなたたちが自助で頑張りなさいと一生懸命言ってきます。私たちは、入らない人たちに対して何でサービスしなくてはいけないのかという考えも出てきます。裁判になったら負けるなど、いろいろ話はあるかもしれませんが、町田市で全面に町内会に入ってもらいたいと言ってもらえないですか。

必ず自主防災とかとビラを配るのですが、町内会員にしか行かないことを皆さんは分かっているにもかかわらず、我々経由でチラシを配るではないですか。全戸配布してでも、町田市は町内会に入らないとあなたを助けられませんか。今、極論を言っています。ごめんなさい、そのような暴言を言えないことは分かっていますが、それぐらいのことを全戸配布で、石阪市長名でバーンと出してもらってもいいと思います。

それで、役員になれないからと高齢の方が退会されるのも非常に寂しい話ですよね。もっと若い人が全員入ってくれば、そういう人に頼まなくても町内会を回していけるし、我々も秋祭りだとか盆踊りをなぜやるのだといったら、みんな仲よくして、いざとなったときにお互い助け合えるような町内会をつくろうと思って一生懸命頑張っているのに、皆さんは掛け声だけで、町内会さん、補助金が出ますから頑張ってくださいと。

そうではなくて、根本的なところをきちんと町田市民に伝えていただかないと、この自主防災は絵だけの話になってしまうのではないかと思います。今回の地区連合会長からの話とずれますが、その辺のお考えを聞かせていただけないでしょうか。

## 市民部市民協働推進担当部長

町内会の加入率で言いますと、今、市連とも一緒になって加入の促進をやっており、それもあって少し下がり具合が鈍化はしているものの、やはり下

がってきているところはあると思います。それを全員入るよというお話ですが、今のところ、率としては、東京都下26市で町田はまだぎりぎり高いほう、上から3番目の加入率ではあります。

町内会に入るか入らないかは、こちらもマンションができたときなどは、入りませんかという話はもちろん差し上げているのですが、やはりまずは任意で入るところがあるので、それ以上なかなか踏み込めないということが状態としてはあるかと思ひます。なので、町内会・自治会連合会と相談ですが、町内会に入りましょうと市長名でメッセージを込めてチラシをつくることは、できるのではないかと思ひます。

### 鶴間町内会

今のをやっていただけるのだったら、ぜひやっていただきたいのですが、町内会員だけにしか伝わっていないのです。町内会員ではない人にどう伝えるかをやっていかないと、自主防災も含めて成り立たないということをきちんと伝えていただきたいのです。

神戸の震災など、いろいろな話を聞くと、近所で助け合って何とか急場をしのぎましたと、必ずそのようなことが出て、では、近所で助け合うのに、4割ぐらいしか加入者がいないのにどうやって助けるのかということなので、会員ではない人に、みんなで助け合うためには町内会に入らないと町田市は手が届きませんということをはっきり言ってほしいです。ましてや、うちの町内会は遠いですから消防車も来ないと思ひます。そのようなことも町内会員から聞こえてきますが、そこをぜひとも非会員の人に声を大にして言っていただきたい。それをもし考えられているのだったら、今は見えていないです。市民協働の部長がおっしゃることは分かりますが、全然我々は感じていません。ぜひ積極的にやっていただきたいと思ひます。お願いします。

### 市民部市民協働推進担当部長

おっしゃるよように、今こういう場にいらっしゃるのも当然町内会に入られている方なので、それ以外の方たちにとよいうこととよいうと、小学校1年生の子ども会などの入会の時期に学校でチラシを配ってもらっているところとよいます。あとは広報でお出ししたり、入っていない人にも届くよようにしていきたくと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

### 鶴間町内会

言葉はあれとよいますが、子ども会の加入率も下がっているのはご存じとよいますか。

### 市民部市民協働推進担当部長

そうなのとよいますが、町内会の中で子ども会もあるとよいますので、その中で一緒に遊び

たいとか、お祭りに出たいとか、小学校1年生とか低学年の子たちにチラシを持って帰ってもらい親に渡してもらおう方法ならば全員の人に行くかなということをやっています。

#### (司会) 地区連合会副会長

今の回答でいかがでしょうか。私もその辺、結構思うのですが、自治会に入っているのは多分48%ぐらいだと思うのですが、我々も新しく引っ越してきた人に自治会に入ってくださいと勧めても、何のメリットと。昔は、町内会に入るのは義務だと思っていたのですが、今の若い人は義務とは思っていないので、メリットとすぐ聞かれる。メリットと聞かれても困るので、ここはやはり市のほうでもっと自治会に入るような何かを考えていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

#### 南つくし野自治会

この議題というか、今の鶴間町内会の会長さんのお話をお聞きして、これは、私たちの総会でも役員会でも、毎回いろいろなところで出てくるお話なのです。何年か前に、税金を免除するから自治会に入ったらという形にしたらどうかという話が確かに出ました。それは無理だという話だったので、残念だったねという話はしたのですが、今、市民協働推進担当部長さんがおっしゃるとおり、よく分かりますし、会長のお話も分かって、私たちがいつもみんなに言っていることと同じようなことを皆さんがおっしゃっています。みんなで何とか会員率を上げたいとか、みんなで努力してもらって未会員をなくそうと。

これは消防団の後援会費にも関わってくるので、私たちは毎年、なぜこの後援会費を入会した人だけが払うのだということが出てきます。これに対する答えを用意しながら総会に向かうということをやっているのですが、思うに、税金はものすごくみんなシビアに感じるものですから、低額でもいいので、自治会に入ればこのくらい税金を免除しますよということを、任意という言葉が一番邪魔をしてできないことなのですが、そういう発想はできないのでしょうか。高額になるはずはないのですが、50円でもいいではないですか。自治会に入ったらそうなるのというだけでも、未加入の方たちを揺り動かせるものがないと、今のお話を聞いていたら、これはずっと言ってきたわということばかりなので、何か一步進む、みんなをえっと思わせることがないと、パンフレットに名前を入れたぐらいでは、ずっとやってきたことですし、お願いしてきたことなのですが、相変わらず同じことをお話しされているなど思いながら、今お聞きしていました。もう少し未加入の方たちをこちらに向かせるようなものを、私たちでは考えあぐねているところなので、教えていただきたいと思えます。

**(司会) 地区連合会副会長**

少し話がずれしまって申し訳ないのですが、これは課題だと思ひ、私もずっと何年もやっていたが、全然効果なしです。市は、差別になってしまうから多分できないと思ひのですが、例えば、回覧物は町内会に入らないと配らないくらいのことを行ったらどうかと思ひますが、よろしくお願ひします。

**防災安全部長**

こちらは合うかどうか分からないのですが、今回、震災100年というところで1町内会30万円までという形があったと思ひのですが、8月24日付のタウンニュースにそのことが載っています。その中に、町内会単位でやってくださいという言葉が入っていますので、個人で欲しいですということではできないのです。だから、何々町会が申請します、では30万円までというのは町内会に入っていないとできない。入っていない人がもし頼みたいとしても、入っていないければこの制度が使えない。そういったところのいろいろな情報の出し方があるかと思ひますので、今は即このようにやりますという回答にはなりません、こういった一つ一つの手法を使いながら考えていくしか、我々は、町内会・自治会イコール自主防災という形になっているので、それが町内会に入っていないければ自主防災も件数も減るしという形になるので、こちらでも危機感を持っているところがあります。皆様が言われていることはごもっともよく分かります。そういったところを考えていかなければいけない。良い回答にはなっていないと思ひますが、こういったお話は頂戴しているので、いろいろと研究させていただきたいと思ひます。

**金森親和会**

今の件で追い打ちをかけるような形だったのですが、募集は4月頃からですよ。なぜ今まで通知されないか。私は正直、知らなかったです。最後の1か月という時点で、うちの会長が防災機器のメーカーと取引があって、メーカーからカタログを送ってきて、東京都がこういうものを行っているので買わないかという話が来て、知ったのです。もしそれが効果があるのであれば、都の助成金の対応をきちんと市から各町内会に通知をしていくのが当たり前になってほしいと思ひます。

**(司会) 地区連合会副会長**

行っていますよ。

**金森親和会**

では、私が知らなかっただけですか。

### (司会) 地区連合会副会長

会長さんには、案内が送られています。

### 防災安全部長

町会の中で、こういったことがありますというのは、発信されたときにしています。

### 金森親和会

自主防災隊の会長にですか。

### 防災安全部長

町内会・自治会がイコールだということの中です。自主防災隊も補助金があったりしますので、そのときにも情報は出しています。

### 金森親和会

すみません、それは知らなかったです。私は少し前に聞いて、これから対処となっていたので。都知事の顔写真入りのメッセージが入っていて、下にとってつけたように町内会・自治会に入りましょうという言葉が入っていて、ちょっと嫌だなと。そういうものも含めて情報は人によってばらつきがあるので、その辺を何とかしていただきたいので、それは去年もお願いしたのですが、情報共有を進めてほしい、分かりやすい情報を出してほしいと思います。

それからもう一つ、去年もいろいろとこのように意見を言われていたのですが、進捗状況が全く分からない。何回か途中で市民協働推進課に行って話をしているのですが、あれだけ立派な議事録を抱えているのだから、その中で課題を確認して、進捗確認をしていって、やはりできないものもあると思うのです。できる、できないをはっきりさせないと、結局、何もやっていない形になって、年に1回、何かしゃべって終わったねという話になるので、市政懇談会は、そういう会にはしてほしくない。せっかくこれだけの人が集まっていろいろな意見を言っていて、それを聞いて、またいろいろなことを考える人がいらっしやるので、そこをただ言いっ放し、やりっ放しという形にしてほしくないので、よろしくお願いします。

### 原町内会

議事進行、時間のことを見ると、1部の締めが2部の問題に関するようなどころに入ってしまったみたいなので、その辺は進行をしっかりとお願いします。

### 南町田自治会

「いちのいち」を導入して、8月から全面的にやって、約400世帯の方に

やり方を配っているのですが、その中で、URLがクリックできないという問題を聞くのです。それは1回直したという話も聞きましたが、そういう単純なところで止まってしまうと広がらないということです。それで心配しているのは、実際のときにみんなの負荷というか、トラフィックが重なったときに大丈夫ですかと。要するに、小田急のサーバーの能力は一体どのぐらいを想定しているのか。東京とか大阪にバックアップが置いてあるのか。そういう点をぜひ1度、町田市が音頭を取って、「いちのいち」の災害の応答、ある日の一定の時間、1時間ぐらいやってみて、本当に使い物になるのかどうか、ぜひ確かめてもらいたいと思います。

### 市民部市民協働推進担当部長

小田急さんのアプリなので小田急沿線で使っているところというと、町田が最大なので、おっしゃるようにユーザーのほうでどのぐらい負荷がかかるのかを実験するというと、町田が対象としては一番いいのかなと思います。そのあたりも小田急さんにお話をして、負荷がどうなのか、皆様にご協力をいただくところもあるかと思うのですが、その際にはよろしく願いいたします。

## 第2部 市政全般に関する意見交換

### 市長からの市政報告

皆様に今日お配りさせていただきました「2023年度市政懇談会 市政報告概要」という資料に関しまして、かなり多くの量がありますので時間の許す限り少しお話ししていきたいと思います。

まず、今お話しいただいた防災の話は非常に内容が深いところまで話合いがありましたので、きちんと取り組まなければいけないことだと思います。

私からは、町内会の仕組みについてお話をさせていただきます。戦前、隣組というのがありました。戦後、GHQが入ってきて強制的な住民組織をつくることができなくなり、そのため町内会や自治会は任意でなければならないというところからスタートしました。町内会や自治会の加入は強制ではないという条件がついていましたが、先ほど副会長が言ったようにみんな入るものだと思っていたから入っていたという状態からずっと推移して、今のようになったというのが実情です。

東日本大震災があったときに、議会の本会議で町内会・自治会の会員と会員でない方の判別についての質問が幾つかありました。当時の答弁では、避難所に食料を受け取りに行くときに、配っているのは大体町内会・自治会の方々なので、日頃顔を合わせていない人たちには後回しになるのではないかと申しました。渡さないでくださいなどと言うことは当然できませんが、少なくとも顔

見知りであれば、ここら辺に住んでいる人だなと認識してもらえますが、知らない人だと配る順番が後になり、食料が手に入らない可能性もありますとお答えしました。

ちなみに、関東の町内会・自治会は規模の決まりがありませんが、関西の町内会・自治会の場合、小学校区など同じ規模で構成しています。また、区長という方がいて、地域の意見を代表する、その地域に何かお願いをするという組織として機能しています。しかし、関東ではそのような機能を持っていません。そのため、入るのもやめるのも自由という中で何かやるというのは非常に難しいというのが関東エリアの町内会・自治会の実情です。

先ほど、税金に関するお話がありましたが、基本、地方税法という法律に書いていない税金は取れません。防災目的に使う法定外の税金を市がつくるという方法がありますが、今のところ聞いたことがない話ではあります。

税金の話も挟みましたが、防災に関しても何とか財源を見つけてやるしかないと思っています。なかなか良い案がないですが、防災法案やお金に関係のあることをしっかりやるというのは市役所の責務ですから、頑張っていきたいと思います。

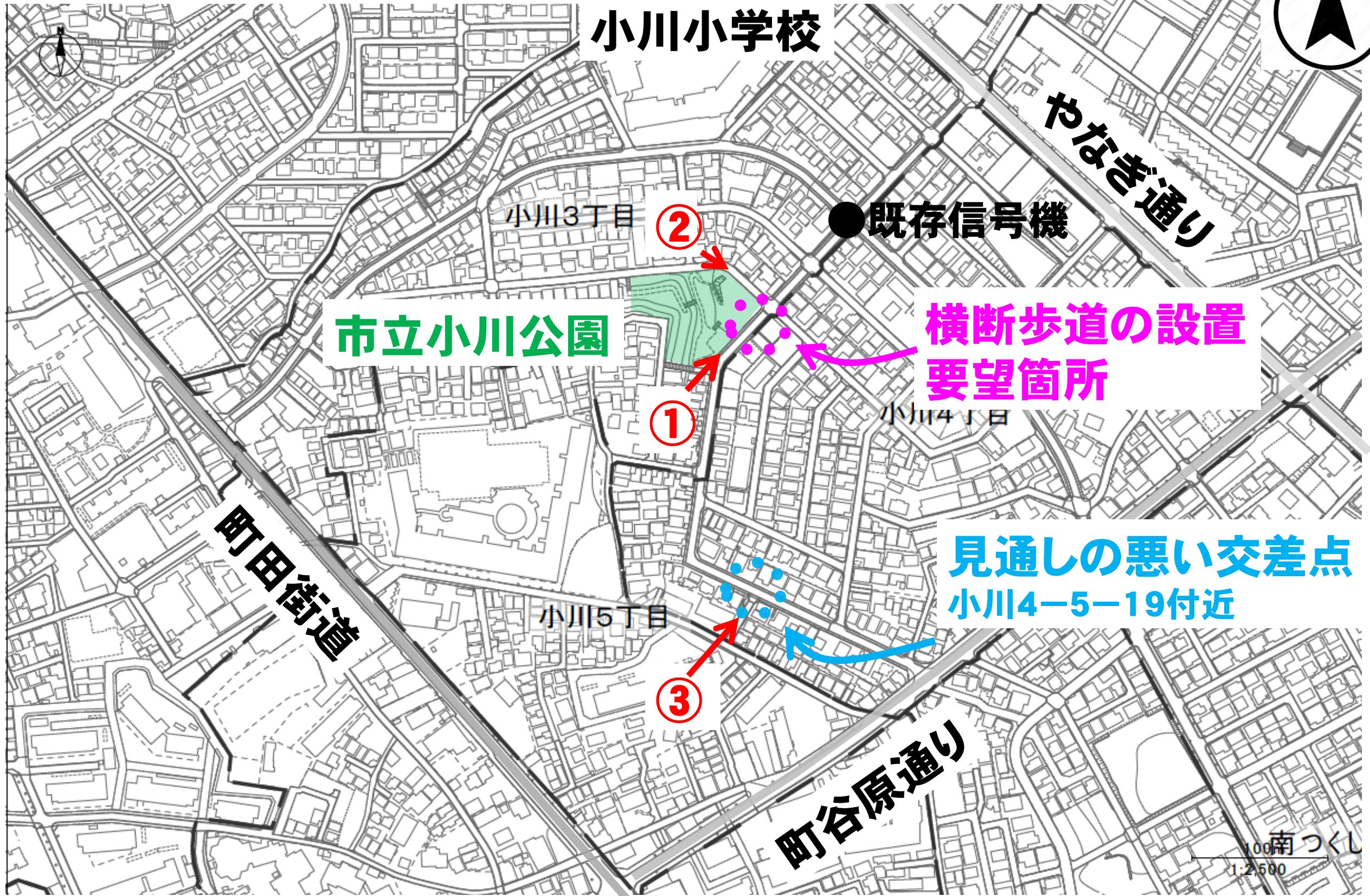
資料の内容としましては、南のほうの病児保育ができたということ为先頭に、学童保育において小1の壁というのが新聞に出っていますが、町田市では壁は既になくなっていきますということ、東京都の児童相談所が町田市にできるということ、このあたりを確認していただきたいと思います。また、エリアが異なりますが、成瀬のコミュニティセンターのグラウンドに、来年から児童館の工事が入ります。最後に、給食センターは最も遅い南で2025年の2学期に造ることになっております。よろしく願いいたします。

## ○閉会の挨拶（南地区町内会・自治会連合会副会長）

# 議題1 小川小学校前の横断歩道の設置について



小川小学校



市立小川公園

横断歩道の設置  
要望箇所

見通しの悪い交差点  
小川4-5-19付近

町谷原交差点

100南つくし  
1:2,500